

# 中国地方における「標準的なバス情報フォーマット」 データ整備とオープンデータ化

keywords

標準的なバス情報フォーマット、  
公共交通情報システム開発、  
バス利用促進

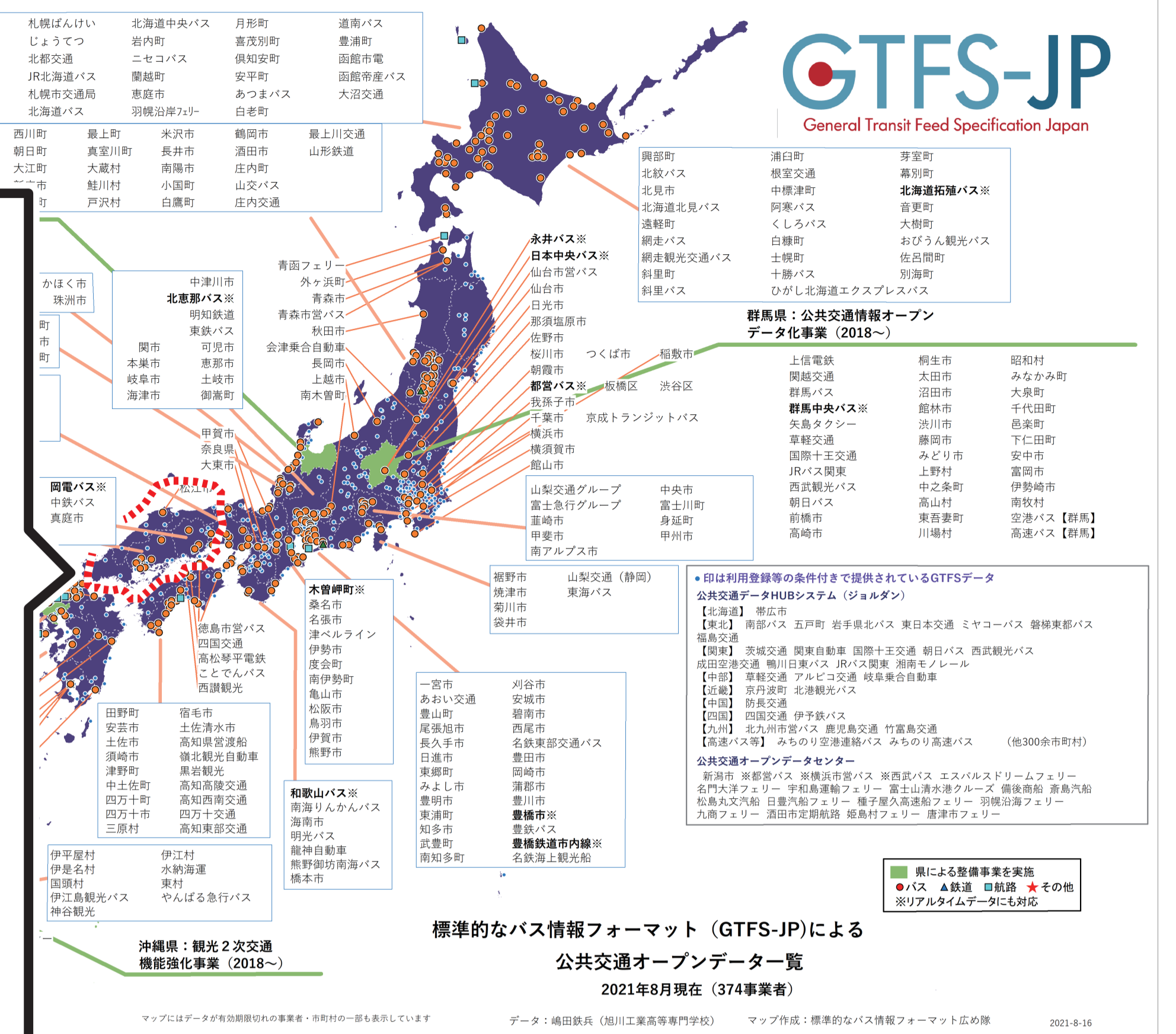
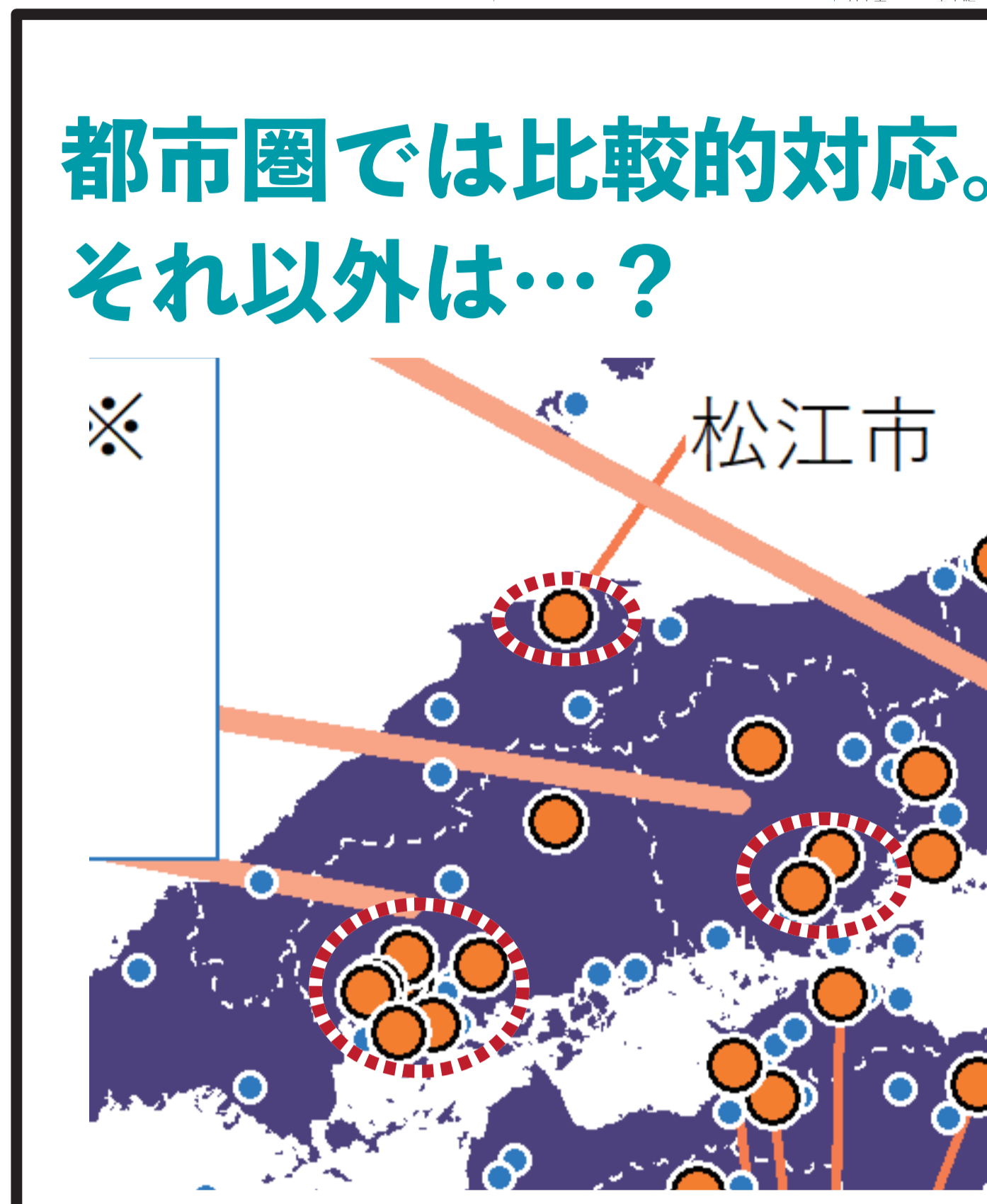
遠藤寛之、原口太輔、岡田あかね、佐藤成明／(株)バイタルリード  
太田恒平、諸星賢治／(株)トラフィックブレイン 中村太覚／(公社)広島県バス協会  
松尾恭子／岡山県 梅本保則／山口県

## 背景

中国地方は GTFS-JP/RT 整備は他地域と比較すると十分とは言えない

近年、県やバス協会主導の  
データ整備・オープンデータ化に向けた  
事業が行われている

目的 データ整備に向けた取組の現状報告や  
成果、取組の中で得られた課題等を共有



## これまでの取組状況と成果

	広島県 (バス協会)	岡山県	山口県
2020年度	※2014年度～ 広島都市圏のバス事業者にバスロケ導入  ● バスロケから 静的情報・動的情報の オープンデータ提供に向けた 調整開始	9月 GTFS データ 利活用セミナー開催 (※オンライン開催) 12自治体 15事業者等 計32名※  10月 GTFS データ 作成ツール勉強会①開催 9自治体 8事業者等 計27名  11月 GTFS データ 作成ツール勉強会②開催 10自治体 7事業者等 計25名	12月 GTFS データ 利活用セミナー開催 8自治体 10事業者等 計21名※  1月 GTFS データ 作成ツール勉強会①開催 8自治体 5事業者等 計17名  2月 GTFS データ 作成ツール勉強会②開催 8自治体 5事業者等 計17名
2021年度	● 4月 静的情報・動的情報の配信開始 バス協会サイトにてオープンデータ化	● 8月 GTFS データ 作成ツール勉強会③開催 7自治体 3事業者等 計13名	
成果	県内 12 事業者がオープンデータ化	1自治体、3事業者がデータ作成中 5自治体がデータ作成ほぼ済 3自治体がデータ作成・公開済	1自治体、1事業者がデータ作成中 3自治体、2事業者がデータ作成ほぼ済 1自治体、2事業者がデータ作成・公開済

※ 国・県外の自治体・県外の事業者等の参加者を除く  
(注1) このほかにも他事業で勉強会等を開催している場合がある  
(注2) 進捗状況は8/12時点

## 取組において得られた課題

### ● リソースの観点

- ✓ データ作成・整備に係る人員の確保
- ✓ 担当者の人事異動への対応
- ✓ PC やネット環境
  - ・ ネット接続不可の PC
  - ・ 接続やソフトインストール制限
  - ・ Excel 等のバージョン更新
  - ・ PC スペック

### ● 交通システムの観点

- ✓ デマンド交通の存在
- ✓ 既存ダイヤシステムとの兼ね合い
- ✓ 膨大な量の標柱緯度経度の調査
- ✓ 中山間地域特有の複雑な路線形態  
(効率的な運行、盲腸線等)

### ● サポート体制の観点

- ✓ 継続的なサポート体制構築  
(事業としての継続性)
  - ・ 十分なサポート費用の確保
- ✓ 熱量、ITスキルに依存し、  
サポート範囲に大きな差

事業として立ち上げる場合、自治体・事業者が自走できる状態まで根気強いサポートが必要  
(特にヒト・カネ)